熊本地震からの創造的復興への「軌跡」

～全国のNN技術職員の皆様へ　感謝の気持ちを込めて～

第4号　H30.3.23 発行

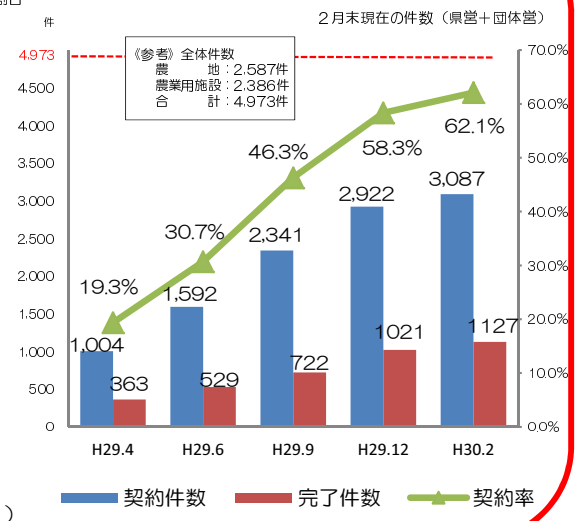
復旧進捗状況

2月末現在の件数とその割合

	復旧予定件数	契約済み		工事完了	
		件数	契約率	件数	完了率
県営災害　計	184 ※1	141	76.6%	8	4.4%
農地	66	49	74.2%	0	0.0%
農業用施設	118	92	78.0%	8	6.8%
団体営災害　計	4,789	2,946	61.5%	1,119	23.4%
農地	2,521	1,552	61.6%	523	20.8%
農業用施設	2,268	1,394	61.5%	596	26.3%
県営＋団体営　計	**4,973 ※2**	**3,087**	**62.1%**	**1,127**	**22.7%**

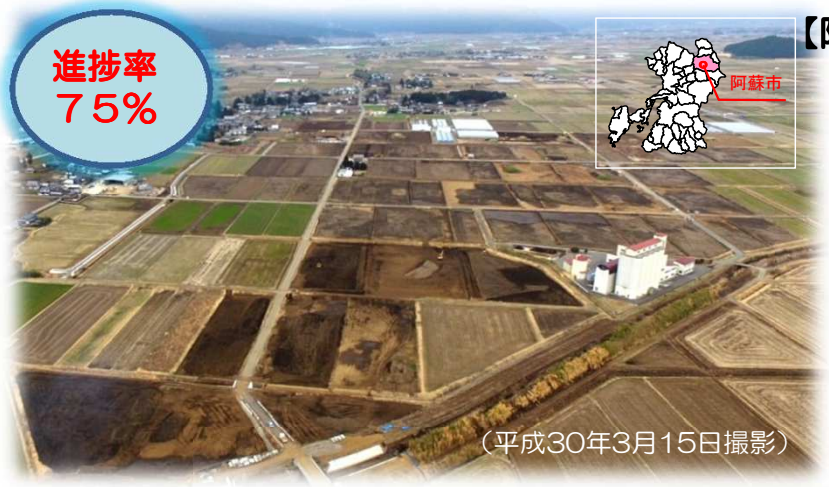
※1　県営災害は大切畑ダム（ため池）を除く
※2　廃工等による復旧件数の減（当初件数：5,193件（県営：186件、団体営：5,007件））

災害復旧工事完了件数及び契約件数の推移



～平成29年度の成果～

1. 県営災害復旧事業の進捗状況



【阿蘇谷地区農地等災害復旧事業（阿蘇市）】

被害の概要

農地（用・排・道含む）　A＝６８ha
（１４工区　A＝２８ha
１７工区　A＝４０ha）

【秋津地区農地等災害復旧事業（熊本市）】

被害の概要

農地（用・排・道含む）　A＝１７２ha
揚・排水機場　１式
幹線排水路　１式

※進捗率は出来高に基づく

【三角地区農道復旧工事（宇城市）】

平成29年８月２５日 しゅん工

2. 団体営災害復旧事業の進捗状況

【島木地区農地災害復旧事業（山都町）】

被災状況及び営農状況写真

波板設置による営農再開

農道法面の被災状況

○不調不落により復旧が手付かずの地域もあります。
○これらの地域では各農家の自助、土地改良区等の共助により営農が継続されています。

3. 年度末に抱える課題と対策

【課題】
年度末に集中する団体営農地等災害復旧事業のしゅん工確認検査の着実な実施

【対策1】
しゅん工確認検査の簡素化
平成28年災について、写真で現地が確認できるものは、書類のみの検査が出来るよう国へ要望し簡素化
（東日本大震災時の取組を参考）

【対策2】
しゅん工確認検査の外部委託
検査体制の強化を目的に検査の一部作業について外部委託を実施

【効果】
熊本地震災害等のしゅん工確認検査が書類検査で対応可能となったこと及び、検査の一部作業を委託したことにより、しゅん工確認検査が**滞りなく完了**し、併せて県・市町村等職員の**負担軽減が図られた**。

4. 平成30年度に向けて

○ 発災から2年が経過しようとしています。これまで経験したことのない大規模な被害が発生し、復旧に向け、多くの課題がありましたが、国・県・市町村が連携し、これまで様々な取組を行ってきました。
○ また、これらの取組により、復旧が加速化されるなど、一定の成果が得られました。
○ 一方、入札の不調不落など不安事項も残っていますが、今後も入札制度の見直しや市町村への技術支援を進めるとともに、関係機関と連携し“**早期復旧**”を目指します。
○ なお、本県は平成30年度までに**営農再開100%**を重点目標に掲げており、来年度が正念場となります。皆様の力をお借りしながら引き続き頑張りますので、今後ともよろしくお願いします。

～大切畑ダム（ため池）～

1. 被害の概要

県下最大級の被害

【被災した主な施設】

- ◆堤体のひび割れ及び沈下
- ◆洪水吐側壁の損傷と下流水路の埋塞
- ◆取水施設操作施設の転倒
- ◆池敷地内の法枠護岸の損傷
- ◆仮排水、取水トンネル等の損傷

査定決定額：6,426,653千円※

※当初査定では、原形復旧（費用64億円）であるが、堤体復旧は断層の影響を考慮し、堤体位置を上流側へ移動する計画変更を手続き中。

2. 復旧方針（H30.3 時点）

【技術検討委員会】

本ダムの復旧方針の策定にあたっては、今回の被害が今までの経験を超えた甚大なものである上、**断層との関連**を検討する必要がありました。

そこで、復旧・復興に向けて学識経験者等で構成する**「大切畑ダム（ため池）技術検討委員会」**を設置し検討を行っています。

第２回技術検討委員会
（平成29年12月25日、26日開催）

3. 復旧スケジュール（H30.3 時点）

大切畑ダム(ため池)災害復旧工程表

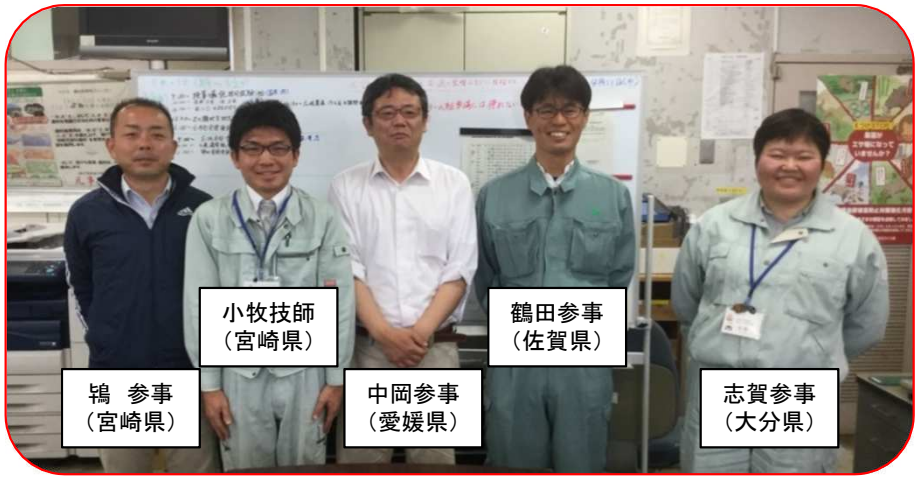
区分	H29年度				H30年度				H31年度以降			
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
技術検討委員会		第1回委員会(7/19)	第2回委員会(12/25,26)			第3回委員会		第4回委員会		第5回委員会		第6回委員会
基本設計 詳細設計												
用地買収 借地補償	権利者調査、用地測量、境界立会、単価決定、契約、支払い、登記								借地、補償			
復旧工事					既設仮排水トンネル補強工事		入札手続き		仮排水トンネル工事 入札手続き		ため池堤体工事 ~H35	

平成35年度供用開始に向けた課題

- ➢ **対応窓口の一元化**
  - □ 用地買収補償の早期実施
  - □ 3町村に跨がる広範な受益者への対応
  - □ ダム建設における専門的な技術検討
- ➢ **工事期間中の営農対策**
- ➢ **地区内関連工事の検討、計画**
  - □ 効率的な水利用に向けた基盤整備
  - □ 施設の老朽化対策

～派遣職員からのたより～

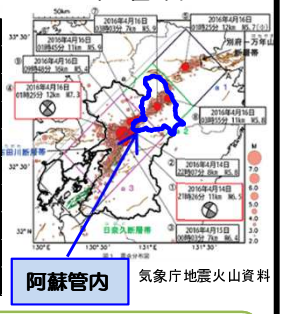
県北広域本部阿蘇地域振興局農地整備課に派遣いただいている5名の職員を紹介します。



阿蘇管内県営・団体営
農地等災害復旧事業の進捗状況
（平成30年2月末時点）

事業主体	関係市町村	件数	復旧完了件数
熊本県	阿蘇市・西原村	98	3　(3.1%)
阿蘇市	阿蘇市	349	90　(25.8%)
高森町	高森町	9	9　(100.0%)
産山村	産山村	87	30　(34.5%)
小国町	小国町	37	37　(100.0%)
南小国町	南小国町	47	42　(89.4%)
西原村	西原村	206	125　(60.7%)
南阿蘇村	南阿蘇村	268	57　(21.3%)
		1,101	393　(35.7%)

地震活動と阿蘇管内
位　置　図



気象庁地震火山資料

【質問事項】
❶氏名【派遣元所属】　❷現在の業務
❸現在の住環境について　❹今後派遣で熊本県に来られる方へ

❶鴇　公誠　【宮崎県児湯農林振興局　地域農政企画課】
❷大切畑ダム（ため池）の災害復旧に関する業務
❸住居は通勤徒歩10分、温泉車5分、居酒屋徒歩1分に立地し、周りを見渡せば雄大な阿蘇の山々に日々癒やされています。
❹農業土木技術者として、貴重な経験を得ることができます。
　まだまだこれからです。復旧・復興のために頑張りましょう。

❶中岡　利康　【愛媛県農林水産部農業振興局農地整備課】
❷西原村受託農地等災害復旧、南阿蘇村農道橋災害復旧に関する業務
❸快適です。
❹同事務所で勤務する職員は皆様非常に親切であり、職場環境は最高です。
また、温泉が多く仕事の疲れを癒やすには最高の場所です。

❶志賀　美樹【大分県農林水産部農村整備計画課】
❷県営第四阿蘇地区農地等災害復旧事業及び第四阿蘇地区農業競争力強化基盤整備事業に関する業務
❸阿蘇地域は、冬期は極寒ですが（自転車の鍵穴も凍りつく寒さ）、とても良いところです。振興局及び農地整備課の職員の皆様には、県外派遣職員へ細かなご配慮をいただき、大変感謝しています。
❹阿蘇は景色も人柄も素晴らしい場所なので、農家・関係者の皆様の温かさと、営農再開後に広がる阿蘇谷の壮大な農地を楽しみに来て下さい。私も、大分県日田市で被災地の復旧復興に励みつつ、熊本県の創造的復興のニュースが届くのを楽しみにしています。

❶小牧　伸吾
【宮崎県農村計画課】
❷大切畑ダム（ため池）の災害復旧に関する業務
❸派遣職員のための仮設住宅に住んでいます。休日は阿蘇山に登ったり、温泉を巡ったり、阿蘇の大自然を満喫しています。
❹普段経験できないようなことを数多く体験することができ、成長させて頂きました。熊本県の復興は道半ばです。熊本県の明るい未来のために、力を合わせて頑張っていきましょう。

❶鶴田　誠
【佐賀県農林水産部農地整備課】
❷県営阿蘇谷地区農地等災害復旧事業に関する業務
❸12月に着任した当時は、阿蘇地域の寒さに驚きました。しかし、宿舎が新しいこともあり、住環境は快適です。
❹地震発生から2年が経過し、今後は復旧の最終仕上げとなり、更に多忙になると思われますが、その分やりがいがありますので、関係機関と協力しながら復旧を進めていただければと思います。

県内でも甚大な被害が発生した阿蘇地域では団体営1,003件、県営９８件（大切畑ダム（ため池）復旧にかかる件数は除く）の災害復旧事業を実施しています。

現在までに、今回ご紹介する5名を含め**総勢２８名**（H28.7以降の累計）もの技術職員を派遣いただきました。

全ての職員を紹介させていただきたいところではありますが、スペースの関係上、現在在籍されている職員の方のみ紹介させて頂きます。この場を借りてお詫び申し上げるとともに、深く感謝申し上げます。

～広　報～

くまモンによる派遣職員へのお礼行脚の実施

○一年間本県の復旧・復興にご尽力いただいた派遣職員に対し、本県で一番人気がある**“くまモン”**による**くまモンお礼行脚**が初めて行われました。（熊本県人事課企画）

これまで多くの職員にご尽力いただきましたが、1年間農地整備課で勤務いただきました鹿児島県島村参事を代表掲載させていただきます。

問い合わせ先

熊本県　農林水産部　農村振興局　農村計画課　農村企画班

TEL：096-333-2468
Mail：nousonkeikaku@pref.kumamoto.lg.jp